



週報

カトリック 園田教会

A年

2014年
8月17日(日)

No. 1913



8月17日(日) 年間第20主日

ミサ 9:00 ポナツィ神父

今日の聖歌と祈り

- 入祭の歌 : 典礼聖歌 65 主は わたしを救われる
答唱詩編 : 「聖書と典礼」をご覧ください
アレルヤ唱 : 「聖書と典礼」をご覧ください
奉納の歌 : 典礼聖歌 395 主よ わたしが悩む時
感謝の賛歌 : プリント サンクトウス(カトリック聖歌集271ページ)
主の祈り : プリント 主の祈り
拝領の歌 : プリント マリアさまのおはなし
皆で唱える祈り : プリント ユスト高山右近の列福を求める祈り
閉祭の歌 : プリント 主よ あなたの道を
(プリント マリアさまのおはなしの裏面)

今日の典礼奉仕者

先唱	本田
聖体奉仕	Sr.大枝
第1朗読者	河瀬(壮)
第2朗読者	ラン
共同祈願・意向担当者	① 佐藤 ② 豊嶋 ③ 平田 ④ クエン
奉納と献金	日曜学校(信仰教育)
典礼当番	岡田、武永
答唱詩編	全員
オルガン奉仕者	石垣

今日の行事・他

- ・共同体の日
- ・日曜学校(信仰教育)お泊り会(最終日)
- ・総務委員会(議題:教会バザーの件)

お知らせ

- ・ロビーにメッセージやお知らせ、各種ポスター、リーフレットを貼付、展示してあります。みなさんご覧ください。

8月22日・記念日

天の元后聖マリア

この祝日は、1954年にピオ十二世教皇によって発表された回勅によって定められ、祝日の日付は5月31日とされました。

教皇は祝日を定めるにあたり、こう述べました。マリアは、その魂が高く上げられたこと、卓越したたまものを受けたことのゆえに、他のあらゆる被造物を超えた元后です。マリアはその愛と気遣いのあらゆる宝を人類に与え続けます。

現在では、公会議後の典礼暦年の改訂により、この祝日は聖母の被昇天の8日後に位置づけられます。それは、マリアが元后であることと、御子と並んで靈魂も身体も栄光のうちに上げられたことの密接な関係を強調するためです。第二バチカン公会議の『教会憲章』は次のようにいいます。「マリアは肉身と靈魂ともども天の栄光に引き上げられ、そして主から、すべてのものの女王として高められた。それは……自分の子に、マリアがよく似たものとなるためであった」。

マリアが元后であるとは、いかなることでしょうか。

普通の王または元後の概念は、権力と富をもった人だということです。しかし、これはイエスとマリアの王・元后としての姿には当てはまりません。

イエスのご自分の奉仕者に仕える王です。イエスはこのことを生涯全体で示しました。同じことがマリアにもいえます。マリアは、神と人類に仕えることによって元后です。マリアは愛の元后です。このかたは、人間を救う計画にあずかるために、自らを神にささげるからです。元后という称号は、信頼と喜びと愛の称号です。

マリアは神の近くにおられる天の元后でありながら、わたしたち一人ひとりの近くにおられる母でもあります。このかたはわたしたちを愛し、わたしたちの声に耳を傾けてくださるのです。

(教皇ベネディクト十六世の一般謁見演説(323回目)からの抜粋)



今週の暦

8月18日(月) 集会祭儀 7:00～

8月19日(火) ミ サ 7:00～ ジョヴァンニ神父

8月20日(水) 《記》聖ベルナルド修道院長教会博士
ミ サ 7:00～ ジョヴァンニ神父

8月21日(木) 《記》聖ピオ十世教皇
ミ サ 7:00～ ジョヴァンニ神父

8月22日(金) 《記》天の元后聖マリア
ミ サ 7:00～ 永富神父(男子パウロ会)
「教区:青年と子どもの練成会(～24日まで)」

8月23日(土) ミ サ 7:00～ ジョヴァンニ神父
・教会清掃(総務:第4週)

8月24日(日) 年間第21主日
ミ サ 9:00 ジョヴァンニ神父

